

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス・相談支援窓口Thank you		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日		2025年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	(回答者数)	
○従業者評価実施期間	2025年 9月 1日		2025年 9月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の意識が高く、真摯に業務に向き合う職員しか在籍していない	残業のない、勤怠体制を組んでいる ICT化を積極的に進め、業務の効率化をおこなっている 日頃から職員同士がコミュニケーションをとれる関係性を構築している	記録や議事録の記入短縮にAIレコーダの導入等を検討している
2	社会福祉士、保育士、言語聴覚士など専門性のある職員を雇用し、子どもの育ちのプロによる支援を実施している	無資格者を置かない 多職種の人材を雇用し、多方面の角度から支援についての方向性を日々模索している	理学療法士の雇用を準備している
3	療育内容にテーマを設け、子ども一人一人の目標に合わせた支援内容を日々提供している	各児童の個別支援計画をまとめた、支援ポイント表を作成し療育担当者が可視化でき、目標に沿った支援になる工夫をしている	低学年と高学年の下校時間に差がある為、療育を2部制にすることを検討している

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	実施した療育内容が積みあがっておらず、毎回1からの準備となり時間を要している	その日の担当者がバラバラの為、まとまった情報となっていない	日々の療育内容をテーマごとに溜めていき、他の職員が準備をする際の参考になるような表を作成する
2	職員によって業務遂行量力にばらつきがある	業務を一人で抱え込んでしまい、停滞が生まれている 報連相が徹底できておらず、抜け漏れがおきる	職員の強み、弱みに合わせ、業務管理が苦手な職員にはチェックリストを用意し、業務の見える化を図っている
3	責任感や自己犠牲が強くなりすぎることがある	優先順位がつけれていない 一つの業務にかかる時間数を意識できていない	まずは、業務にかかる時間を自身が知ることで、対策を考える 向いていない業務の場合は担当を変更する

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス・相談支援窓口Thank you				公表日	2026年 3月 末日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1		運動のプログラウ時は少し狭く感じる時もあるので下校時間で調整するなど工夫が必要
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	送迎時も基本、添乗員をつけてのお迎えを実施している	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0		自由時間は動と静のやりたい事に合わせ、空間を仕切って使用している
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0		子ども達にも掃除に参加してもらい、清潔に使用をする、使ったら掃除をして綺麗を保つ事をみんなで意識している
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	自由に使用できる部屋を2部屋用意しており、防犯カメラも設置済である	夏場、締め切ると空調の流れが悪い 面談、言語療育、クールダウンなど個室の用途が多岐に渡るが物を置きっぱなしにならないよう徹底します
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2		効果測定が曖昧になりがちなので、結果報告を重視していく
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	自己評価を頂いた後には必ず次年度の話をする際に全員で確認し、意見が生きるようにしている	評価の流れを理解できていない職員への研修の実施が必要である
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	希望者への個人面談の時間を設け、声を聴く時間を設けている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6		実施が課題である
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	各職員のスキルや経験に合わせ、適切な研修を受講している	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1		弊社HPで公表しているが、職員でも知らない職員がいる為、周知徹底していく
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	利用者児童、ご本人への面談を実施し、本人のニーズをつかむようにしている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	都度カンファレンスを実施している	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1		今後、発達過程やライフスキルについてのアセスメントツールを導入していきたい
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	日ごとの担当者が立案している 活動内容はチームで決めている	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	役割分担とプログラム内容の共有を必ず実施している	送迎でない職員もいる為全員は難しいがメイン・サブ間では実施している 徹底しきれていないので、意識を高めたい
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2		気づいた点の共有はできているが振り返りまでは各自になっている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	1		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	1	本人が自己選択できる時間を設けている	自己選択を促す声掛けができていないと感じる日もある
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	相談支援事業所との連携を図っている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	保護者からの情報提供を元に共有している	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	4	相談支援事業所にて対応	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	0	自社に児童クラブや保育園を運営しており、交流をすることができ、施設も商業施設内なので地域との交流が取りやすい	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	システムを導入し、活動記録、お写真を確認しやすいようにしている	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	家族支援としての情報提供の場は実施ができた	ペアレントトレーニングについては実施ができていない 令和8年度は必ず実施をしたい事項である	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	利用者本人との面談、保護者面談両方実施している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	0	保護者会を定期的実施している	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	2		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	社内メールでも伏字を使い、個人情報の流出には注意している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	絵カードやジャスチャーを用いて発語のない利用者の意思決定を別の方法で確認するようにしている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	入居商業施設自体で開催のフェスティバルに毎年出店している	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	2		訓練は実施しているが、もう少し回数を増やしても良いかと思われる
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	おやつ提供やクッキングの実施もある為、生活指導管理表のアレルギー疾患用を用いて把握をしている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	2		計画は毎年年度初めに策定している 研修や訓練の実施に漏れないか確認が必要
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2		実施内容が保護者様へ伝わりきっていないと感じる システムを利用し、必ず届くように改善致します
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	他事業部の保育園での事例も共有されており、多方面の角度から方策を考えている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1	事業部を超えた委員会を設置し、防犯カメラを設置し、徹底的に防止対策を講じている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0			